

# ドラッカー学会壱岐大会 開催要領（案） ver.5-May.2019

○名称：（仮称）ドラッカー学会第14回大会 in 壱岐の島

○開催日時：2019年11月30日（土）10:00～17:00／懇親会 17:15～

○開催場所：壱岐の島ホール 中ホール

〒811-5133 長崎県壱岐市郷ノ浦町本村触4 4 5 TEL0920-47-4111

○大会テーマ：「すでに起こっている未来」 The future that has already happened.

○趣旨（散文）：

ピーター・F・ドラッカーは、1964年の著書『創造する経営者』において、「社会的、経済的、文化的な出来事と、そのもたらす影響の間にはタイムラグがある。出生率の急増や急減は、20年後までは労働人口の大きさに影響をもたらさない。だが、変化はすでに起こった。戦争や飢饉や疫病でもないかぎり、結果は必ず出てくる」と論じた。それから約55年後の今、世界の命運を左右する支配的な要因は、少子化・高齢化・人口減少である。ドラッカーが喝破した人口構造の変化はすでに起こってしまっていたのだ。

今大会の舞台、壱岐の島。ピーク時には50,000人を超えた人口も今では27,000人を下廻り、高齢化率は約37%に到達した。この島には、我が国の20年後―「すでに起こっている未来」―が縮図として現出している。

壱岐市の20年後について市が策定した「壱岐市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」によると、2040年には人口18,000人、高齢化率が40%を超えると予想されており、待ったなしのまさに今この時、官民一体となり様々なチャレンジが行われている。“パワースポット”と称され、様々な注目を集めるこの小さな島の小さな変化と小さな実践の中に、予期せぬ成功と予期せぬ失敗を、我々は見出すことができるはずだ。

今般、壱岐の島で起こっている変化と機会を踏まえ、ドラッカーの記した原文に照らし、野田一夫氏\*後述 のアドバイスのにより、大会オリジナルテーマとして、

「すでに起こっている未来」を採用した。

○キーワード：「すでに起こった未来」

<http://drucker-studies.com/words/2141.html>

○プログラム： ゲストによる、ドラッカー及びマネジメントに関する講演  
実践者による、研究・実践報告  
吉崎市民による、公開読書会

○参加費： 有 料 ー 詳細未定

○想定来場人数： 120 人（会員 40 人／一般島外 20 人／一般島内 40 人／シニア・  
学生 20 人）

○公式ウェブサイト： <http://idws2019.strikingly.com/>

○登壇者（交渉中も含む・順不同）

- 野田 一夫氏 ー ドラッカーを日本にはじめて紹介した日本経済界のゴッドファーザー。孫正義氏、澤田秀雄氏、南部靖之氏（通称ベンチャー三銃士）の師匠としても有名。
- 豆田 和也氏 ー 学校法人麻生塾 麻生医療福祉専門学校福岡校介護福祉科教員。ドラッカーマネジメントを学生と共に実践し成果をあげている。
- 原田 靖彦氏 ー (株)昇運代表取締役。社内読書会「昇ドラ」の成果と展望を、社員と共に報告。
- 岩崎 夏海氏 ー 作家。大ベストセラー「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」等著書多数。
- 森 俊介氏 ー 全国公募 391 人から選ばれた iki-biz センター長。クラウドファンディング黎明期に、支援者数日本一の支持を得て「森の図書室」を渋谷にオープンさせた。
- 井坂 康志氏 ー ドラッカー学会理事。ものづくり大学特別客員教授。翻訳家。詩人。ドラッカー本人に外国人として最後にインタビューした編集者。
- 多田 治氏 ー 一橋大学大学院社会学研究科教授。早稲田大学在学中、井坂氏と組んだ「アイソレーションズ」ボーカリスト、作詞・作曲家。

- 木村 俊昭氏 — 元祖スーパー公務員。東京農業大学教授。NHK『プロフェッショナル 仕事の流儀』出演。全国の地方創生の現場で活躍中。
- 中村 卓也氏 — 福岡市総務企画部長。福岡市健康先進年戦略「福岡 100」策定の中心人物。
- 壱岐高校／商業高校学生
- 白川 博一氏 — 壱岐市市長。
- 割石 和孝氏 — 有限会社割石工務店常務取締役。
- 鬼塚 裕司 — 一般社団法人我見る, ゆえに我あり代表理事／実行委員長。

○主 催： ドラッカー学会 <http://drucker-ws.org/>  
 ／ドラッカー学会第 14 回大会 in 壱岐実行委員会  
 — 実行委員長：鬼塚 裕司

○共 催： 壱岐市？／一般社団法人 我見る, ゆえに我あり

○協 賛： 準備中

○後 援： 準備中

○壱岐の島について：

対馬地域とともに壱岐対馬国定公園に指定されており、白砂青松の海岸をはじめとした美しい自然景観、豊かな歴史遺産、温泉、グルメなど多くの観光資源に恵まれています。

■古くから大陸文化の中継地として重要な役割を果たしており、日本遺産に認定された「国境の島 壱岐・対馬・五島 ～古代からの架け橋～」を構成する国指定特別史跡の「原の辻遺跡」、国指定史跡の「勝本城跡」や「壱岐古墳群」など、貴重な歴史遺産が数多くあり、「壱岐市立一支国博物館」、「長崎県埋蔵文化財センター」を拠点として、これらの貴重な歴史・文化資源等を活用した地域振興に取り組んでいます。

■地理的特性から福岡都市圏との結びつきが強く、経済圏も福岡市を中心とした北部九州地域に広がっています。

■産業別就業者数は、第 1 次産業の比率が県平均（8.2%）と比べて高い（22.8%）のが特徴ですが、その割合は減少傾向にあり第 3 次産業が増加してきています。

■農業は肉用牛、水稻、葉たばこの基幹作物を中心に、施設園芸や露地野菜、花き等を取り入れた複合経営が主体で、特に農業産出額の過半を占める肉用牛は市場の評価が高く、「壱

岐牛」として地域団体商標にも登録されています。

- 水産業は好漁場に恵まれ、釣りや定置網等により、イカ類、ブリ類、サワラ、クロマグロなどが主に漁獲されています。特にイカ類は、壱岐市の水産物生産量の56%、県のイカ類生産量の22%を占めています。また、ウニ類等の磯根資源も豊富です。
- 壱岐は麦焼酎発祥の地と云われ、壱岐焼酎は平成7年にWTO（世界貿易機関）協定に基づく地理的表示の産地指定を受けています。島内7つの蔵元によりその伝統と製法が守り続けられており、壱岐を代表する特産品となっています。

## ○東京からのアクセス

### コース例①

羽田空港→長崎空港（乗り継ぎ）ORC オリエンタルブリッジ 15:55 長崎空港発→  
16:25 壱岐空港着

### コース例②

羽田空港→福岡空港→博多港 ジェットfoil（1日4~5便）→約1時間→  
壱岐（郷ノ浦港／芦辺港）

### コース例③

羽田空港→福岡空港→博多港 フェリー（1日3~4便）→約2時間20分→  
壱岐（郷ノ浦港／芦辺港）

## ○宿泊

ホテル、旅館、温泉旅館、民宿、ゲストハウス等多数ありますが、秋のイベントシーズンでもあり、過去、市内宿泊施設すべてが満室になった例もありますので、早めのご予約をおすすめします。ちなみに、学会大会会場近く、郷ノ浦（ごうのうら）町の宿泊施設が便利です。

## ○トピックス

麦焼酎発祥の地・壱岐の島。この度、大会開催にあたり、ドラッカー学会大会記念焼酎（壱岐焼酎シェア No.1 の玄海酒造製）を特別販売します。限定50本の予定です。